



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.676 2023.3.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

区民の税金は暮らしの応援に

区議会最終本会議 日本共産党が新社会党と共同で新年度予算案に組み替え動議

区民要望を新年度から購入補助など、切実な高年齢者などへの補聴器

組み替え提案の総額は48億円。うち45億円を物価高騰対策臨時給付金に充て、非課税世帯と課税標準額200万円以下の納税者へ、それぞれ3万円を支給することを求めています。

区民の半数に届く臨時給付金を

北区議会第1回定例会は22日、最終本会議を開きました。新年度予算案の採決に先立ち、日本共産党と新社会党が共同で予算組み替え動議を提出。山崎たい子議員が提案理由を述べました。

日本共産党と新社会党の

予算組み替え提案



▶物価高騰対策臨時給付金

非課税世帯と課税標準額200万円以下の納税者へ北区独自に3万円を支給。人口のおよそ半数が給付対象に



▶補聴器購入補助

23区で18区が実施・計画している補聴器補助を、北区でも新年度から実施

▶高校生・大学生への応援支援金

高校の部活・課外活動や大学の入学金・授業料などを対象に支援金を支給



▶国保料均等割18歳まで半額に

就学前までが対象の均等割5割減額を区独自に18歳まで手当で拡大

▶家賃補助制度創設

▶商品券の追加発行

▶会計年度任用職員への手当支給

実現することを求める提案となっています。積み上がった基金を財源に

組み替えの財源は、年度末に約195億円と過去最高に積み上がった財政調整基金か

ら40億円を活用するほか、年度末に10億円を積み増した上に、新年度さらに10億円を積み増すとしているまちづくり基金から8億円を抛出することを提案しています。

福島宏紀区議、新社会党の福田光一区議が賛成討論を行いました。が、反対討論に立った公明・自民など、与党多数の反対で、組み替え動議は否決となりました。(のの山けん)

赤羽一丁目市街地再開発「第二地区」準備組合が

赤羽小敷地の一体利用を要請



赤羽駅東口の市街地再開発区域は「第一地区」「第二地区」「第三地区」の3つに分かれています。この中で、「第二地区」と赤羽小学校の敷地を一体利用することになれば、約1.8ヘクタールの広大な開発用地が創出されることになります。

仮に赤羽小が赤羽公園や赤羽会館の位置に移転するとすれば、新たな公園の敷地を確保するために一体利用の用地が活用される可能性もあります。その場合、建設する複合施設の屋上を「空中公園」にすることも想定されます。(のの山けん)

16日、地域開発特別委員会が開かれ、赤羽一丁目市街地再開発の進捗よく状況が報告されました。この中で、「第二地区」の準備組合が、赤羽小学校敷地との一体土地利用に関する検討を要望していることが明らかになりました。(のの山けん)

「第二地区」は、一番街に隣接し、シルクロードを含む飲食店街。この区域の地権者は、再開発への賛同者が3分の2を超えたことを受け、今年1月、区長に準備組合設立届を提出しました。その際、同準備組合が、「より良い教育環境の確保と魅力あるまちづくり

今のところ、「一体利用」の内容は判然としません。

開発用地は2倍以上の広さに

のため、同地区と赤羽敷地を一体的にとらえて土地利用を図る検討を求め「旨の要望書を区に提出したとのことです。

せんが、「第二地区」と赤羽小敷地を合わせれば約1.8ヘクタールもの広大な開発用地が生まれることとなります。

中央区は昨年、再開発による45階建ての高層複合ビルの中に小学校を開設しましたが、赤羽の場合も、土地一体利用によって建設した高層ビルの中に、赤羽小学校を取り込んで改築するということも考えられます。

赤羽小移転なら赤羽公園を新設か

複合施設の屋上に公園

都市公園法の改正で整備可能に

04年の都市公園法改正で創設された「立体都市公園制度」で、公共空間である公園の下に民間の駐車場や店舗などを建設することが可能になりました。この制度を活用して20年にオープンしたのが渋谷区のMIYASHITA PARK（宮下公園）です。赤羽でもこうした手法が導入される可能性があります。(のの山けん)



立体都市公園制度を活用したMIYASHITA PARK